

「八幡浜市市民スポーツセンター」指定管理者の選定審査概要

申請者：清水商事株式会社（以下「清水商事（株）」の説明および質疑応答の内容と審査結果

【説明】

清水商事（株）：平成 21 年度より市民スポーツセンターの指定管理者となり市民の体育、スポーツ振興、健康増進、文化的生活の向上等、スポーツセンターの設置目的を果たせるよう誠心、誠意、管理運営に努めてきた。その結果、八幡浜市の人口減少が進む状況の中で、特にトレーニング室、水泳教室といった専門性が必要とされる分野において利用者数を増加に導き、スポーツセンター全体の利用者数の増加に繋げている。これまでに蓄積したスポーツセンターの管理運営経験を最大限に生かし、今後も市民に益々喜んでいただけるよう努めることで、八幡浜市への社会的貢献を果たしたいと願い、今回申請した。

住民サービスの向上による適正な収入確保、ならびに細部にわたる経費削減を確実に実施し、安定した運営を実現させていく。そのためには安全を第一に考えた施設の運営管理、公共性を意識した公平・平等なサービスの提供、利用者意見を反映した安心・快適な施設づくり、関係機関及び地域との円滑で速やかな連携・協力・協調体制の確保、省エネルギー・廃棄物の発生抑制など環境に配慮した運営管理の徹底、関係法令を遵守した運営管理といった基本方針のもと職員一丸となってスポーツセンターの管理運営に努めていく。計画書に記載した様々な取組によって職員の資質やサービス水準、管理運営の質を高めて、参加率の向上に努めて、利用率の増加に繋げていきたい。

特に、高齢者の利用促進を図ることが重要であると考えており、地域の高齢化率が上昇するにしたがって、医療費の増大、要介護者の増加など、社会的な問題が大きくなっていくと考えられるので、高齢者にスポーツセンターを積極的、かつ継続的に利用してもらうということは、収益向上やスポーツセンターの運営といった枠を超えて、社会的に非常に重要な課題であると認識している。高齢者向け教室の企画を充実させていきながら、高齢者が安心して利用できる環境づくりを今まで以上に力を入れていきたい。また、関係機関とも協力をしていきながら高齢者が元気でいられるようなまちづくりに貢献をしていきたい。

人口減少と少子高齢化が進行する八幡浜市だからこそ、スポーツセンターの存在意義、担う役割は今後益々大きくなっていくはずであり、まさにこれからがスポーツセンターとスポーツセンター指定管理者の腕の見せ所であると考えている。

【質疑応答】

委員：反社会的勢力が施設を利用したいという申し込みがあった場合、どのように対処しようと考えているか。

清水商事（株）：警察関係から反社会勢力の情報提供を受けたり、警察で開催される講習にも会社として参加している。警察との協力体制により万全を期して対応できると考えている。

委員：特定の利用者の予約により、他の利用希望者が利用できないという問題は起きていないか。

清水商事（株）：八幡浜市民スポーツセンター条例施行規則第4条で利用日の6か月前から受付可能としているため、その旨を利用団体にも告知し、6か月前ならば誰でも予約できるようにしている。

委員：夜間の利用はどのようなものがあるか。

清水商事（株）：メインアリーナはレクバレー、インディアカ、バドミントンが主であり、最近ではフットサルの利用も増えつつある。サブアリーナは卓球、社交ダンス、フォークダンスが主であり、たまに結婚式の余興のダンスを練習したいといった申込もある。

委員：高齢者の利用拡大について、関係機関と協力して行うということであったが、具体的にどのようなことを考えているのか。

清水商事（株）：関係機関が実施する地域ごと、公民館の単位で高齢者の運動をする場に現在講師としてスポーツセンターから出向いている。これをもう少し発展させて地域の方にスポーツセンターを利用していただける教室や事業として運動指導を展開できないか、関係機関と少しずつ話を進めていっている。

委員：緊急時、災害時の避難マニュアルは持っているか。

清水商事（株）：スポーツセンターの消防計画で南海トラフ地震に関する部分も作成し、5月と11月の年2回、スタッフと利用者で避難訓練を実施している。消防署と協議をし、第1避難場所を北浜公園、第2避難場所を市役所としている。

委員：水泳教室についてスポーツセンターの利用率を高めていくと、同じ清水商事（株）が運営しているリー・ステーションの利用率が下がるという可能性もあると思うが、どのように考えているか。

清水商事（株）：二つの水泳教室で生徒を奪い合うわけではなく、同じ地域性の中で成功・失敗事例の情報共有をすることで、地域の子どもの水泳教室の参加率や実施率を高めていきたいという基本的な考えがある。その結果、この2年ほど二つ水泳教室に参加する子どもは増えており、地域全体の水泳をしている子どもの数が増えている。

委員：人口減少の中で利用者が増えているということは、大変努力していると思う。

【審査結果】

清水商事株式会社 合計 452点（600点満点）

清水商事株式会社を、八幡浜市民スポーツセンターの指定管理者候補者として市長に報告することについて、全会一致で決定。